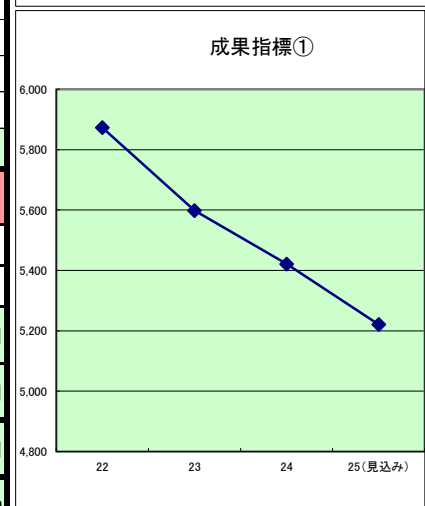
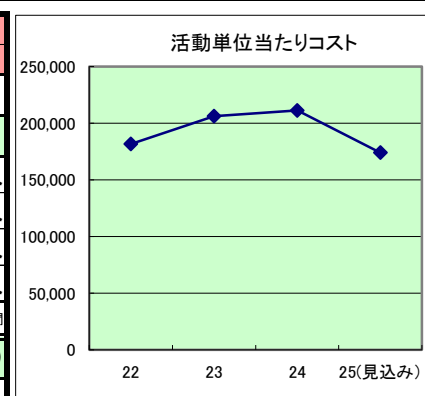


事務事業名		鉛管取替事業		会計 水道会計 款 資本的支出 項 建設改良費 目 工事請負費 事業 鉛管取替事業		
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち			
	施策(節)	11	上下水道			
	施策の方向	(1)	良好で安全な水の供給			
関連する計画等				作成部署	水道局工務課	
				(連絡先)	072 - 958 - 1111 内線 5043	
事業の概要(目的・内容)		給水区域内の鉛製給水管を安全向上のため、道路に埋設されている水道本管から宅地内に引き込まれている給水管を、ポリエチレン管に取り替える。				
根拠法令等		水道法				
事業期間		☒ 10 年以上 ☐ 5 年以上10年未満 ☐ 5年未満（平成 年度開始）				
事業開始時からの状況変化						
実施手法		☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他（ ）				
委 託 先		☐ 市外郭団体委託 名称（ ） ☒ 民間委託 ☐ その他		委託内容		取替え工事

区 分		22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込み)
事業費【1】		(千円) 20,274	10,336	8,478	30,000
人件費【2】		(千円) 4,446	4,518	4,411	4,830
職員数	正規職員	0.60 人	0.61 人	0.62 人	0.70 人
	再任用職員	人	人	人	人
	嘱託職員	人	人	人	人
	臨時職員	0.07 人	0.07 人	0.07 人	人
超過勤務(参考)		(時間) 0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費【(1)+(2)】【A】		(千円) 24,720	14,854	12,889	34,830
財源内訳	国庫支出金	(千円) 0	0	0	0
	府支出金	(千円) 0	0	0	0
	市債	(千円) 0	0	0	0
	その他（使用料・手数料等）	(千円) 0	0	0	0
一般財源【B】		(千円) 24,720	14,854	12,889	34,830
活動指標【C】		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)
(事業の活動実績)		単位			
① 取替え件数		件	136	72	61
②					
活動単位当たりコスト (【A】÷【C】①)		181,765 円	206,306 円	211,295 円	174,150 円
活動単位当たり一般財源額 (【B】÷【C】)		181,765 円	206,306 円	211,295 円	174,150 円
市民1人当たりコスト (【A】÷人口)		209 円	127 円	111 円	300 円
一般財源【B】の推移(前年度比)			▲ 39.9 %	▲ 13.2 %	170.2 %
※前年度比5%以上変動している要因(該当する場合のみ ☒) ※該当項目すべてに ☒		☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど ☒ 2. 左記1によらない対象件数などの増減 ☐ 3. 物価・賃金水準などの変動 ☐ 4. 国庫支出金など特定財源の増減 ☐ 5. その他()			



成果指標 (事業の達成度を測る指標)	指標名			平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	①	給水区域内鉛製給水管	件	目標	5,412	5,673	5,398	達成率(%)	5,221
		(式又は説明)		実績	5,873	5,598	5,421	100.4%	
	②			目標				達成率(%)	
		(式又は説明)		実績					

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
	○			○						

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど） 市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か 他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない 事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	市民に安全・安心できる水を供給する義務を果たすため、水質基準に適合しなくなる恐れのある鉛製給水管は、取り替えるべきである。本来給水管は、個人の財産であるが、過去の一定期間に厚生省の指導に基づき鉛製給水管の使用を積極的に推進した水道局の道義的責任において、取替を行う。
分析・評価	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☒	☐	☐	
		民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☒	☐	☐	
分析・評価	協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☐	☐	☒	ホームページで鉛製給水管取替事業実施をPRするとともに、取替工事予定家屋に工事に先立ち、各戸ビラの配布を行い市民の協力をお願いしている。
	有効性達成度	成果指標の実績値は目標値以上である 成果指標は前年度より向上している	☐	☒	☐	計画的に事業を実施し、市民に安全・安心できる水を供給する。

担当部局評価	総合評価	
	☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 （概ね現行どおり継続して実施） （実施方法の改善を検討する） （事業規模の縮小を検討する） （廃止・休止を検討する）	
	今後に向けて（取組方針・具体的な改善改革案など） 平成14年度から取替工事を実施しており着実に残存件数が減少しているので、今後も計画通り取替工事を行い全廃を目指す。	
行革本部評価	総合評価	評価理由・意見
	☐ 継続 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止	事業コストのさらなる合理化・効率化を図ること。